

### 3. 跡地利用についてのイベント（その2）

本節では、イベント2の目的、概要及び結果概要について整理した。

#### （1）イベントの企画 実施目的

普天間飛行場跡地利用に向けての取組を、県民に広く周知し、返還後のまちづくりに関する気運醸成を図ることを目的とする。過年度までの成果品を用いた展示会を開催することで、今後の展望に夢を抱いてもらう機会を創出する。

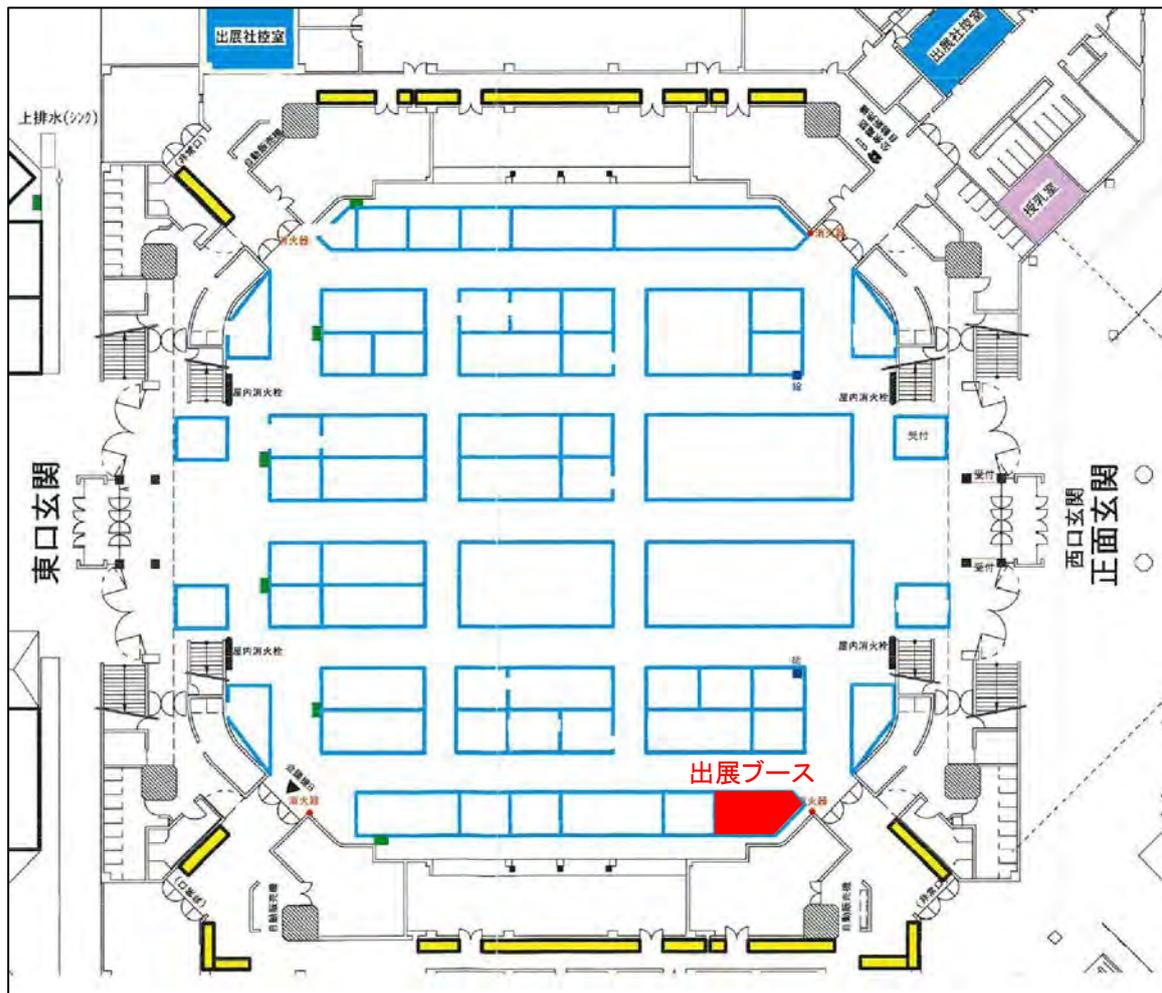
「沖縄県トータルリビングショウ」には、住まいや暮らし等に関心のある人々の来場が想定されるため、普天間飛行場跡地に潜在する資源の魅力、みどりの中のまちづくりをはじめ、普天間ライフスタイルイメージを展示することで来場者の興味を喚起する。併せて、アンケート調査を実施することにより、広く県民の意見を聴取する。

#### （2）開催概要

##### （2）- 1 開催概要

【開催日時】平成30年10月19日（金）～21日（日） < 3日間 >  
10：00～18：00

【開催場所】沖縄コンベンションセンター展示棟



図Ⅲ-2 イベント（その2）会場全体図

(2) - 2 展示内容

(2) - 2 - 1 展示のストーリー

**【イントロ】**  
 これまで沖縄県・宜野湾市が共同で検討を進めてきた「普天間飛行場跡地利用計画(中間取りまとめ)」(H25.3)よりパネルを作成し、計画内容全体を知ってもらう。また、航空写真を出力したマットを敷くことで、普天間飛行場の位置や規模等を来場者に把握してもらう。



**モニター1**  
 イベント1で使用したシアター映像

パネル「配置方針図(中間取りまとめ)」  
 「計画づくりの方針(中間取りまとめ)」



**関連パンフレット①**  
 全体計画の中間取りまとめ

**【普天間飛行場跡地に潜在する資源の魅力(シマの基層)】**  
 普天間飛行場及び周辺における自然環境自然・歴史文化資源を展示し、普天間飛行場跡地に潜在する資源の魅力を知ってもらう。また、宜野湾・神山集落写真(米軍撮影)を出力したマットを敷くことで、かつて集落があったことを来場者に把握してもらう。



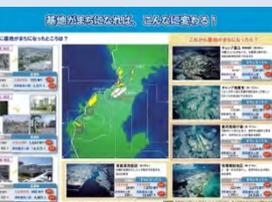
**モニター2**  
 イベント1で使用したPV  
 ①シマの基層(3分13秒)  
 ②緑の中のまちづくり(6分01秒)

パネル「自然環境資源」  
 「歴史文化資源」

パネル「昔の集落の様子」

**関連パンフレット②**  
 原風景模型

**【跡地利用による経済効果と緑の中のまちづくり】**  
 普天間飛行場がまちになることでもたらす経済効果や、緑が人や環境にもたらす効果を示すことで、跡地利用の重要性と未来の普天間飛行場跡地に夢を抱いてもらう。



パネル「跡地利用による経済効果」

パネル「緑の効果」

**【新しい沖縄のライフスタイル】**  
 新しい沖縄のライフスタイルを紹介することで返還後のライフスタイルを具体的にイメージしてもらう。



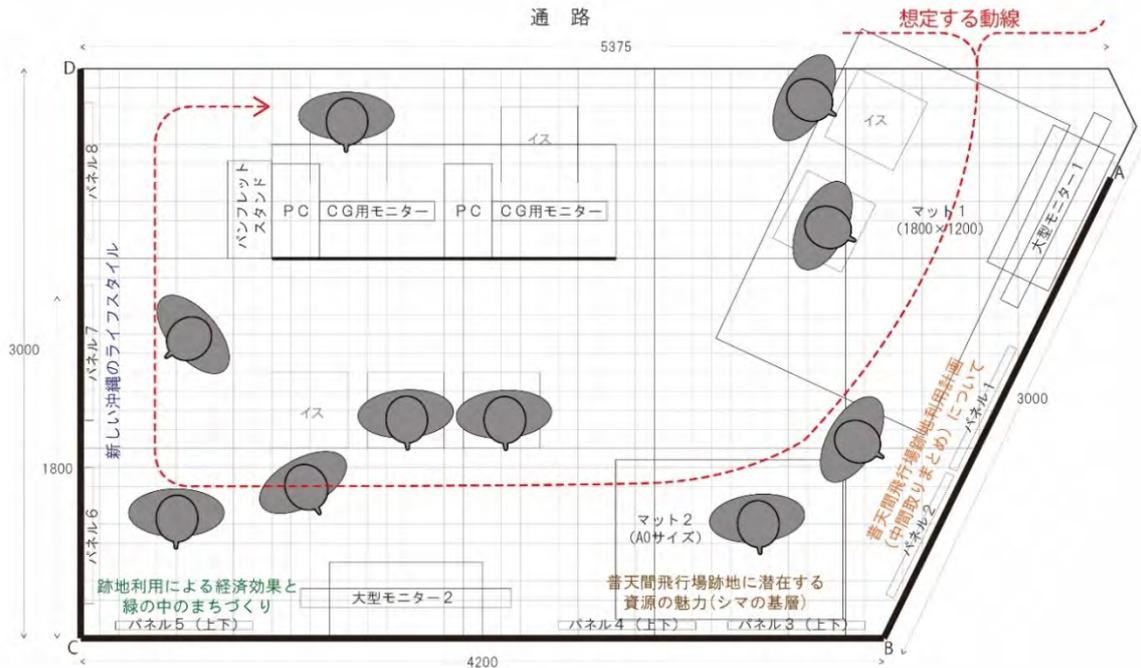
パネル「新しい沖縄のライフスタイル」  
 「ライフスタイルを支える機能」

**【イメージCGまちあるき体験コーナー】**  
 未来の普天間をイメージしたCGの中でまち歩きを体験できるコーナーとし、今後の展望に夢をいだいてもらう。また、跡地利用における方針を説明するポップアップの出現により、具体的な計画内容を知ってもらう。



**アンケートによる意見聴取**

(2) - 2 - 2 ブースレイアウト (平面図)



図Ⅲ-3 イベント (その2) ブースレイアウト (平面図)

表Ⅲ-3 イベント (その2) 展示内容

パネル等	大型モニター
・航空写真マット(現在の航空写真に宜野湾市域、飛行場範囲を図示)	モニター1:シアター映像を上映
<b>○普天間飛行場跡地利用計画(中間取りまとめ)について</b>	
・パネル1: 普天間飛行場跡地利用計画の中間取りまとめ「配置方針図」 ・パネル2: 普天間飛行場跡地利用計画の中間取りまとめ「計画づくりの方針に関する提言」	—
<b>○普天間飛行場の魅力(シマの基層)</b>	
・パネル3(上段): 「普天間飛行場及び周辺における自然環境資源」 ・パネル3(下段): 「普天間飛行場及び周辺における歴史文化資源」 ・パネル4(上段): 「模型でわかる地形と緑を活かした集落のようす」 ・パネル4(下段): 「模型でわかる戦前の集落の様子」 ・小パネル1~3: 「歴史文化資源に関連する写真」 ・宜野湾・神山集落写真マット(1945年に米軍により撮影された航空写真)	モニター2: PV(シマの基層)を上映
<b>○緑の中のまちづくり</b>	
・パネル5(上段): 「基地がまちになれば、こんなに変わる！」 ・パネル5(下段): 「未来のまちのキーワード」	モニター2: PV(緑の中のまちづくり)を上映
<b>○新しい沖縄のライフスタイル</b>	
・パネル6: 新しい沖縄のライフスタイル① ・パネル7: 新しい沖縄のライフスタイル② ・パネル8: 新しい沖縄のライフスタイルを支える機能 ・小パネル4~9: 「VRより切り出したシーンカット」	—
<b>○イメージCGまちあるき体験コーナー</b>	
VRの中から中央エリアを切り出し、編集したコース設定とする。 目的地到着時に説明が出る等の仕掛けを追加し、2台を設置する。	—

(2) - 2 - 3 ブースレイアウト (展開図)



図Ⅲ-4 イベント (その2) ブースレイアウト (展開図)

**(2) - 3 周知方法**

**(2) - 3 - 1 沖縄県トータルリビングショウ事務局による周知**

沖縄県トータルリビングショウ事務局においては、県内の新聞紙面やテレビ・ラジオCM等の様々なメディアを活用することで、イベント開催について、県内に広く周知している。

そのことから、既存の大型展示イベントへ出展することで、個別での展示イベント実施に比べて、周知に係る費用を抑えながら広く県民に対してイベント開催に関する周知が可能となった。

また、新聞広告による周知では、各ブースの出展内容を掲載する出展社紹介や出展社の広告を掲載する特集下連合広告も掲載され、沖縄県と宜野湾市が共同で普天間飛行場の跡地利用計画策定に向けて取り組んでいることを県民に広く周知することができたと考えられる。

**①テレビ・ラジオCM等による周知**

**【テレビCM】**

放送局	琉球放送（スポット）	琉球朝日放送
期 間	平成30年9月16日～10月21日	
本 数	64本	101本

**【ラジオCM】**

放送局	RBCiラジオ	エフエム沖縄
期 間	平成30年9月16日～10月21日	
本 数	39本	50本

**【大型ビジョン ティーダ（浦添市）】**

期間：平成30年10月5日～10月21日  
本数：530本

**【モノレール広告】**

期間：平成30年10月15日～10月21日  
全34車両に1枚ずつ掲出

②新聞記事・広告による周知

沖縄タイムス ●記事

掲載日	掲載内容	掲載面
9月22日(土)	第32回トータルリビングショー	1頁/総合面
10月18日(木)	えっ まだ食べたこと、ないの? って思わず自慢したくなる店特集	22頁/かなさうちな-むん面
10月19日(金)	住まいの情報一堂に/トータルリビングショー/宜野湾できょう開幕	3頁/経済面
10月19日(金)	第32回沖縄県トータルリビングショー 住まい夢空間	16-17頁/広告特集面
10月20日(土)	夢の住まい 魅力の提案/宜野湾でトータルリビングショー	1頁/総合面
10月20日(土)	停電対策 蓄電池に関心/リビングショー 木造住宅も人気	11頁/経済面
10月20日(土)	第32回トータルリビングショー/広がる快適住まい/あすまでコンベンション	19頁/特集面
10月21日(日)	健康意識し家造り/壁材に漆喰 関心集まる/リビングショー きょうまで	8頁/経済面
10月21日(日)	老後生活考え片づけ	8頁/経済面
10月22日(月)	外間さん最優秀賞/子ども絵画コンクール	24頁/社会面
10月22日(月)	「空間に先人の知恵を」/琉球風水師横川さん講演 リビングショー閉幕	24頁/社会面

沖縄タイムス ●広告

掲載日	広告枠	掲載内容	掲載面
9月26日(水)	TVタテ突出し	開催告知(多色)	TV頁
9月27日(木)	TV番組下	開催告知(多色)	TV頁
9月28日(金)	TV番組下	開催告知(多色)	TV頁
9月29日(土)	全5段	開催告知(多色)	21頁/地域面
9月30日(日)	TV記事中	開催告知(多色)	TV頁
10月2日(火)	全5段	開催告知(多色)	22頁/全面広告面
10月3日(水)	TV記事中	開催告知(多色)	TV頁
10月4日(木)	特集	出展社紹介シリーズ(モノクロ)	25頁/全面広告面
10月4日(木)	TVタテ突出し	開催告知(多色)	TV頁
10月5日(金)	全5段	開催告知(多色)	23頁/全面広告面
10月6日(土)	TVタテ突出し	開催告知(多色)	TV頁
10月7日(日)	TV記事中	開催告知(多色)	TV頁
10月8日(月)	全5段	開催告知(多色)	9頁/国際面
10月10日(水)	TV記事中	開催告知(多色)	TV頁
10月11日(木)	TVタテ突出し	開催告知(多色)	TV頁
10月12日(金)	特集	出展社紹介シリーズ(モノクロ)	15頁/全面広告面
10月13日(土)	TV記事中	開催告知(多色)	TV頁
10月14日(日)	特集	出展社紹介シリーズ(防災・防犯フェア)(多色)	11頁/全面広告面
10月16日(火)	特集	出展社紹介シリーズ(モノクロ)	24頁/全面広告面
10月16日(火)	TV番組下	開催告知(多色)	「出展社紹介」の掲載面
10月17日(水)	全5段	開催告知(多色)	
10月17日(水)	TV記事中	開催告知(多色)	TV頁
10月18日(木)	特集	出展社紹介シリーズ(モノクロ)	10頁/全面広告面
10月18日(木)	オレンジむら	開催告知(多色)	6頁/経済面
10月18日(木)	TV番組下	開催告知(多色)	TV頁
10月19日(金)	特集	開催日初日特集(多色)	16-17頁/広告特集面
10月19日(土)	TV記事中	開催案内(多色)	TV頁
10月20日(土)	全5段	開催案内(多色)	22頁/社会面
10月20日(日)	TV記事中	開催案内(多色)	「特集下連合広告」の掲載
10月21日(土)	全5段	開催最終日案内(多色)	

## コシカモ

### ● 広告

掲載日	広告枠	掲載内容	掲載面
9月8日(土)	全面広告	開催告知	4頁

## 日刊スポーツ

### ● 広告

掲載日	広告枠	掲載内容	掲載面
9月30日(日)	全5段	開催告知(多色)	12頁
10月6日(土)	全5段	開催告知(多色)	12頁
10月7日(日)	全3段	開催告知(多色)	1頁
10月11日(木)	全5段	開催告知(モノクロ)	10頁
10月16日(火)	全3段	開催告知(多色)	1頁
10月19日(金)	全5段	開催案内(多色)	9頁
10月20日(土)	全3段	開催案内(多色)	1頁

住まいと暮らしの情報誌

## 週刊タイムス住宅新聞

### ● 記事

掲載日	掲載内容	掲載面
8月24日(金)	こども絵画コンクール応募情報	5頁
10月12日(金)	併催事業 講師 大湾かよこさん・稲垣暁さん・横川明子さん紹介	6~7頁
10月19日(金)	こども絵画コンクール	1~5頁
10月19日(金)	開催告知&併催事業紹介等	12~13頁
10月26日(金)	トータルリビングショウレポート	12~13頁

住まいと暮らしの情報誌

## 週刊タイムス住宅新聞

### ● 広告

掲載日	広告枠	掲載内容	掲載面
8月3日(金)	全5段	こども絵画コンクール応募情報(多色)	17頁
8月17日(金)	全5段	こども絵画コンクール応募情報(多色)	17頁
8月24日(金)	全3段	こども絵画コンクール応募情報(多色)	15頁
8月31日(金)	全5段	こども絵画コンクール応募情報締切間近(多色)	9頁
9月7日(金)	全3段	こども絵画コンクール応募情報(多色)	17頁
9月14日(金)	全3段	こども絵画コンクール応募情報(多色)	22頁
10月5日(金)	全11段	開催告知(多色)	8頁
10月12日(金)	全11段	開催告知(モノクロ)	10頁
10月19日(金)	全5段	開催告知(モノクロ)	18頁

住まいと暮らしの情報誌

## 週刊ほ〜むぷらざ

### ● 記事

掲載日	掲載内容	掲載面
8月9日(木)	こども絵画コンクール	9頁
9月6日(木)	こども絵画コンクール	9頁

住まいと暮らしの情報誌

## 週刊ほ〜むぷらざ

### ● 広告

掲載日	広告枠	掲載内容	掲載面
8月16日(木)	全3段	こども絵画コンクール(多色)	10頁
8月30日(木)	全3段	こども絵画コンクール(多色)	17頁
9月13日(木)	全5段	こども絵画コンクール応募情報(多色)	9頁

③出展社紹介

平成30年10月18日の沖縄タイムス紙面においては、本イベントの出展ブースである「普天間未来予想図」に関する紹介が掲載された。

## 普天間未来予想図事務局



### 普天間未来予想図

沖縄県と宜野湾市は、返還が予定されている普天間飛行場の跡地利用計画策定に向けた検討を共同で行っています。さまざまな人が集い、暮らし、働き、楽しむ、そんな未来のまちなぎイメージを紹介し、広く県民のみなさまが跡地におけるまちづくりについて考えていただくきっかけになればと思います。

展示内容としては、跡地におけるまちづくりを「普天間未来予想図」と題して「緑の中のまちづくり」「新しい沖縄のライフスタイル」をテーマに、プロモーションビデオや普天間の未来をイメージしたCGの中でまち歩きを体験できるコーナーの他、跡地利用に向けた検討内容も紹介します。

住所 那覇市久茂地1-2-20  
電話 098(864)5638

④特集下連合広告

平成30年10月19日の沖縄タイムス紙面においては、出展社である「普天間未来予想図事務局」の広告が掲載された。

沖縄県と宜野湾市が共同調査を行っています

## 普天間未来予想図

飛行場跡地

<http://www.pref.okinawa.jp/futenma-mirai/>

普天間未来予想図事務局

(株)URリネージュ・(株)オリエンタルコンサルタンツ・(株)国建・玉野総合コンサルタント(株)

調査業務共同企業体

連絡先：(株)国建(電話)098-864-5638 (FAX)098-862-8849

(2) - 3 - 2 県・市ホームページによる周知

# 普天間未来予想図

## 飛行場跡地

### 体験イベント

第32回沖縄県  
**トータルリビングショー**に出展します。

沖縄県と宜野湾市は、返還が予定されている普天間飛行場の跡地利用計画策定に向けた検討を共同で行っています。さまざまな人が集い、暮らし、働き、楽しむ、そんな未来のまちのイメージを紹介し、広く県民のみなさまが跡地におけるまちづくりについて考えていただくきっかけになればと思います。

展示内容としては、跡地におけるまちづくりを「普天間未来予想図」と題して、「緑の中のまちづくり」、「新しい沖縄のライフスタイル」をテーマに、プロモーションビデオや普天間の未来をイメージしたCGの中でまち歩きを体験できるコーナーの他、跡地利用に向けた検討内容についても紹介しております。

見て、体験して、みんなで未来のまちをイメージしてみませんか。

未来のまちのイメージCGまち歩き体験



未来のまちを歩いてみよう!

「緑の中のまちづくり」



緑がまちの魅力を高め、暮らしを豊かにする?

「新しい沖縄のライフスタイル」



普天間飛行場跡地の未来のまちで実現したいライフスタイルは?



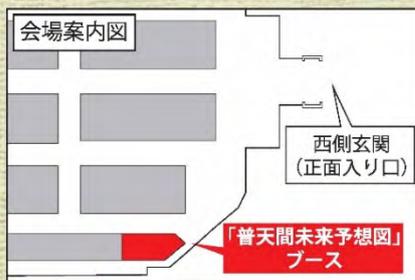
み動ようかして

2018年  
**10月19日(金) ~ 10月21日(日)**  
**10:00 ~ 18:00**

沖縄コンベンションセンター  
展示棟

【お問い合わせ】  
普天間未来予想図事務局 [(株)国建 内]  
連絡先：(電話) 098-864-5638 (FAX) 098-862-8849

会場案内図



「普天間未来予想図」ブース

(3) 開催報告

(3) - 1 来場者数及び実施の様子

3日間のイベントブース来場者数は、合計 1,507 名となっており、日曜日の来場者が最も多く 729 名であった。来場者の約 23%がCGまちあるき体験を行っており、特に子ども達に好評であった。また、アンケートにおいても「CG体験コーナーが分かりやすく、とても良かった。」「体験コーナーは子どもが楽しそうで良かった。」等の意見が多くみられた。

アンケートについては、3日間で 99 票となっており、回収率約 7%と低くなっている。本イベントへの来場者の主な目的は、会場内の各ブースを見て回ることであり、そのことがアンケートの回収率が上がらなかった要因の一つであると考えられる。

表Ⅲ-4 イベント（その2）日別・時間別来場者数及びアンケート回収状況

日程	10/19(金)		10/20(土)		10/21(日)		合計	
天気	晴れ		晴れ		晴れ			
	ブース 来場者	CG 体験	ブース 来場者	CG 体験	ブース 来場者	CG 体験	ブース 来場者	CG 体験
10:00~11:00	56	—	61	7	72	15	189	22
11:00~12:00	46	—	82	18	146	38	274	56
12:00~13:00	20	—	95	13	94	35	209	48
13:00~14:00	29	—	41	13	118	31	188	44
14:00~15:00	39	—	76	21	86	19	201	40
15:00~16:00	20	—	93	18	124	27	237	45
16:00~17:00	32	—	60	9	53	13	145	22
17:00~18:00	4	—	24	12	36	10	64	22
合計	246	—	532	111	729	188	1,507	299
アンケート回収数	30		42		27		99	
イベント全体来場者	4,797		10,512		15,074		30,383	

① 1日目：平成30年10月19日（金）



② 2日目：平成30年10月20日（土）



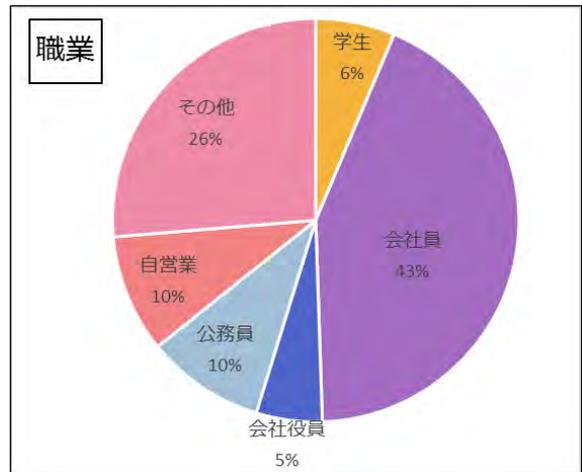
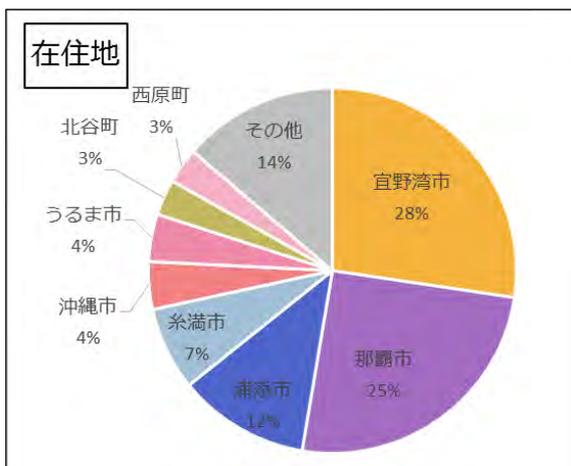
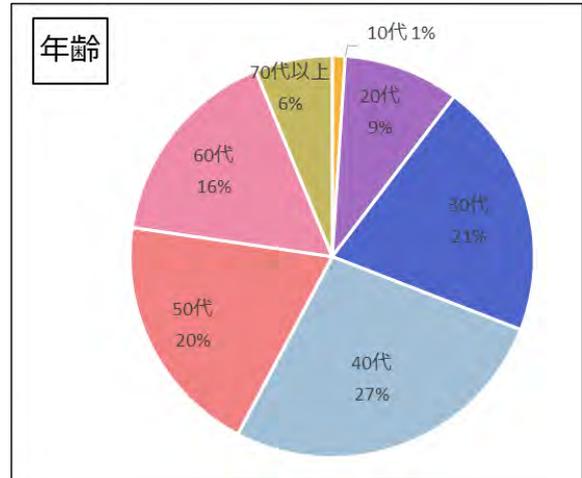
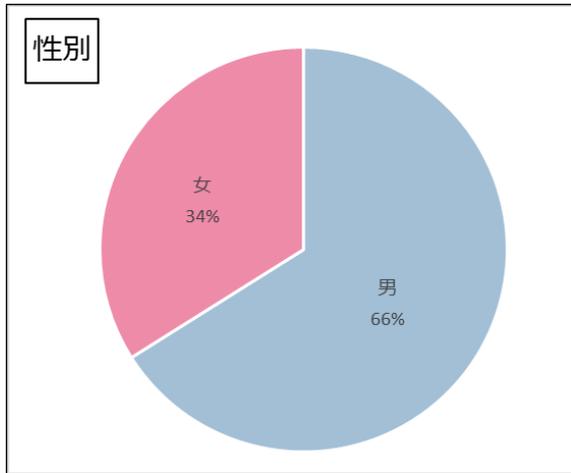


③ 3日目：平成30年10月21日（日）

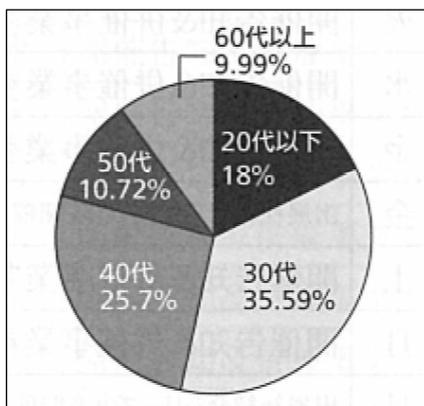


(3) - 2 アンケート結果

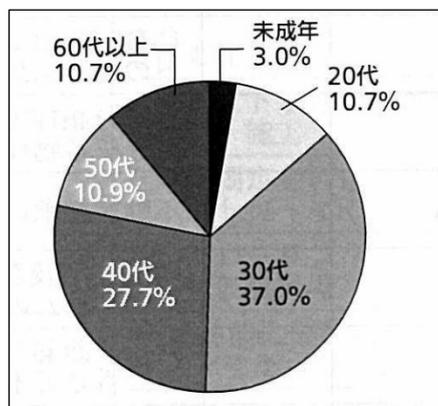
沖縄県トータルリビングショウへ訪れる客層としては、例年、住宅や住まいに関心の高い 30～40 代が最多となっており、本ブースでのアンケート調査においても、30～40 代が 48%と高い割合となっている。しかし、実際に訪れる客層は、子ども連れの 20～30 代の夫婦の来場者が多くみられた。



【参考】沖縄県トータルリビングショウ来場者の年齢層（アンケート調査より）



H29 年度実績



H30 年度実績

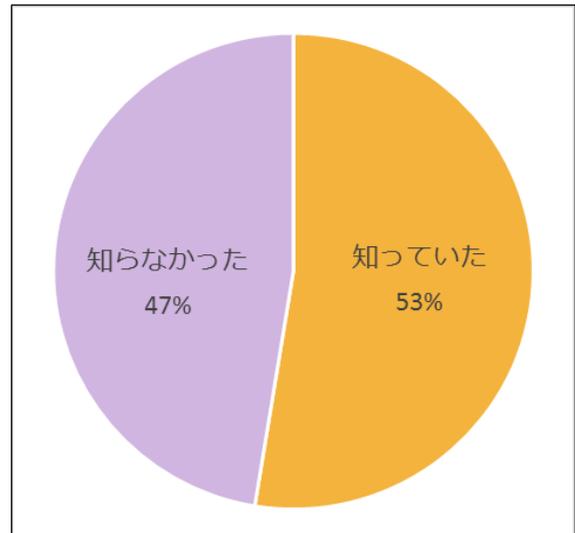
設問 1

**沖縄県と宜野湾市が、返還を予定されている普天間飛行場の跡地利用計画策定に向けた検討を共同で行っていることについてご存知でしたか？**

「知っていた」と答えた人が 53%、「知らなかった」と答えた人が 47%であった。

自由意見の中では、「跡地利用計画がこんなに進んでいることを初めて知った。」「跡地利用に向けた計画を立てていることと知っていたが、知らないことが多かった。」等の意見があった。

今後も引き続き、県民に広く周知を図っていく必要があると考えられる。

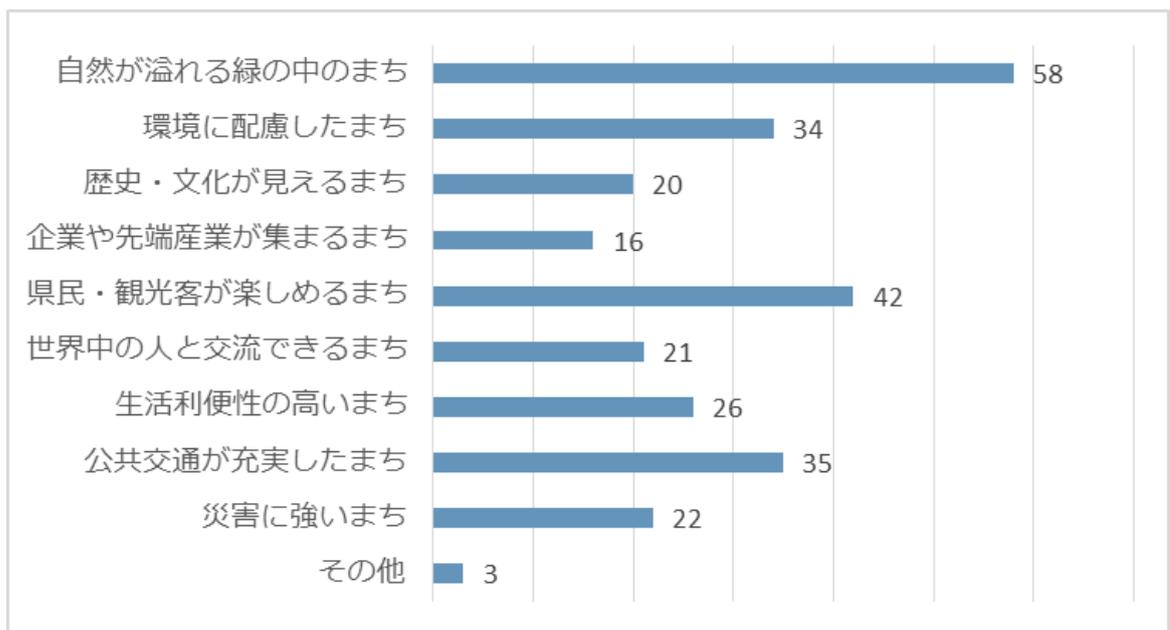


設問 2

**普天間飛行場跡地がどんなまちになったらいいと思いますか？（3つまで選択）**

「自然が溢れる緑の中のまち」が最も多く、次いで「県民・観光客が楽しめるまち」、「公共交通が充実したまち」となっている。

その他の意見としては、「シルバー世代が安心・安全に暮らせるバリアフリーの町」、「国際的高等教育機関」、「スポーツ施設、健康施設」を求める意見があった。



## 設問3

今回の展示を見て、ご意見・ご感想などございましたら、ご自由にお書きください。

## ① イベントについて

- ・とても興味深かった。サイトもみてみたい。
- ・返還後の未来が想像できるパネル展示であった。
- ・係員の方が丁寧に説明していただき大変良かった。
- ・具体的なお話が聞けて良かったです。未来は明るいと感じました。
- ・未来の普天間が自然があふれて環境に配慮したらいいと思う。この企画はとてもよかったと思う。
- ・わかりやすい。
- ・子供にも分かりやすい書き方をしたパネルがあったらいいと思います。

## ② 展示内容について

- ・基地ができる前の集落、環境を知ることができた。
- ・イメージCGにワクワクしました。実現に向けて、市民・県民、知恵をだしあっていききたい。
- ・BIMを使い、より具体的に知れたのは良かったです。また、緑あふれる活気ある街づくりはこれからの沖縄の課題であり、実現するのを期待したいです。
- ・CGの体験コーナーが新しく、分かりやすくて、とても良かったです。
- ・CGでの体験がとてもよかった。実際に自分が歩いているようでした。早く返還されてほしいです。
- ・基地が返還されることによって得られる経済効果について知れてよかった。今後、普天間基地が返還されるのが、待ち遠しくなった。
- ・VRが面白かったです。
- ・CG体験が大変おもしろかったです。
- ・CGの3Dスティックが素晴らしかった。
- ・CGで未来の形を見られるのでおもしろい。
- ・VRでとても分かりやすい。
- ・シミュレーションとパネル展示見やすかったです。
- ・普天間飛行場の経済的な阻害の大きさにびっくりした。
- ・昔はこういう風な街並だったのかと思ったのと、近い将来の街並に期待が高まった。
- ・戦前の宜野湾の様子を知ることができた。興味深い。歴史的に重要なものが基地の下にねむっているかもしれない。
- ・体験コーナーで子供が楽しそうで良かったです。
- ・CG体験コーナーは子供達が楽しそうで良かったです。
- ・新しい沖縄のライフスタイルに興味がありました。普天間飛行場跡地に新しいすてきなまちができることを楽しみにしています。
- ・体験コーナーで子供たちがよるこんでいました。

### ③跡地利用について

- ・世界にほこれる町づくりを希望します。
- ・電線地中化を実現してほしい。那覇新都心の住宅地域のようにほしくないでほしい。
- ・年配の人が自由に移動できるまち。平坦な普天間だから実現可能だと思う。
- ・年配の人が楽しめる商業店舗があると良い。巣鴨のようなイメージ。
- ・鉄道の計画も含めると良いと思う。
- ・立地もとても便利な場所にあるので、市内外の人々が立ち寄って活性化され、地元へも還元していくまちづくりがイメージでき、良かったです。
- ・見ているだけで楽しく過ごせそう。こんな町ができるといいだろうな。緑多き町をめざして!!
- ・大学を誘致してほしい。普天間高校を是非ここへ。モノレールも通して欲しい。
- ・早めの都市計画で安心しました。騒音で悩まされている宜野湾（我如古）の住民としては、その具体的な案を早めに提示して、検討させてほしい。
- ・子孫の為に美田は残すべきと考えた。
- ・返還合意から早 20 年以上。遅々と進まないよう計画は立てていることと思っていましたが、知らないことが多かった。生活利便性だけでなく自然を活かす計画が必要だと思います。
- ・世界に例のないまちづくりの夢を感じる。返還軍用地の跡地利用は県民の明るい未来を想像するだけでも楽しい。しかし夢だけに終わりそうな政治状況は良くない。辺野古に早く決めてもらって、国の協力によって普天間まちづくりの夢を実現したいものです。特に私が提案したいことは、普天間基地一周道路を造ってもらいたい。返還が不明の中でまずやるべきことは、これしかない。夢を描くより現実問題（交通など）を考えてもらいたい。
- ・沖縄は緑が少ない。景観を良くすべき。空、海がキレイなので地上をキレイにしたら日本一になると思う。
- ・戦前の集落の様子がわかった。歴史的価値のあるものを生かし、他の地域にない町づくりにしたい（日本中どこも新しい町は同じでつまらない）又は、トータルデザインを考える建築家に全部まかせたらどうか。
- ・戦前の景観を踏襲した町づくりを行ってほしい。並木街道などを復元してほしい。
- ・もう少しアジア圏を含めた国際都市構想をもって欲しい。市長はじめ、街づくりは外国での経験、視点が豊富な人材を公募すべき。
- ・宜野湾市民であるが、基地があることで交通面で不便を感じており、将来、基幹道路を中心とした町づくりにより、大いに発展が期待できると思う。
- ・どんな街にしたいのか、をぶれずにはっきりと示してほしい。もうかる町にしたいのか、子育て世代の町なのか、先端技術の町なのか。地主の意向もあるが、あれもこれも入れると中途半端になるので、目的・目標のあるまちにしてほしい。
- ・自然を残して欲しい。
- ・歩けるまち（歩行空間の確保）街路樹、緑陰・街路樹の間隔を狭くして緑陰の中を歩けるように（枝をはる樹木は良くない）。企業誘致する面積は限定して快適な生活環境

を望む。

- ・観光振興・地下水の活用必要。
- ・ハイテクノロジーを目指した街づくりもあって良いのでは。
- ・跡地に県庁をもってくる。その周辺に電車を通すことで利便性が向上する。
- ・県外から観光に訪れた人々が沖縄の観光に興味を持ち、沖縄の拠点となり、環境に配慮した町づくりを目指してほしい。

#### ④その他

- ・どうなっていくのか？イメージできそうでできないです。
- ・実際の実現に向けてがんばって下さい。
- ・今後の基地返還跡地利用楽しみです。
- ・何年後に実際に動くのかわからない為、実感が無い。
- ・市外から来ましたが、先月の市長選もあり、宜野湾市のこと、沖縄のこと更に興味をもたなければならないなど展示ブースを見て改めて思います。
- ・跡地利用計画がこんなに進んでいるとは初めて知った。
- ・飛行場が広大だと認識したことで有効活用を考えてみたい。
- ・まだまだ先の事かなと感じました。
- ・県民のアイデアを同時に募集して欲しいです。
- ・21世紀型の物はまだ見られない。
- ・土地はどうするの？多くの土地は買い占められているという話を聞いたことがある。また、土地を買い占めている人の中には中国人も含まれるらしい。中国人に土地を買われないように条例を早期に作った方がいい。
- ・早く返還されてほしい。
- ・沖縄の業者で工事を進めてほしい。
- ・早めに実現してほしい。
- ・いろいろな形で宜野湾市がもっと住みやすい町になればと思います。がんばって下さい。



#### (4) まとめと今後の課題

##### (4) - 1 来場者の反応

- ・沖縄県と宜野湾市が普天間飛行場跡地利用に向けた計画づくりに取り組んでいることに来場者は好感と感心を示す方が大半であった。
- ・中間取りまとめパンフレットを持ち帰る来場者が多く、最終日には準備した部数を全て配布し、簡易コピー版で対応するほどであった。
- ・返還時期に関する質問をする来場者が多くみられた。

##### (4) - 2 意見聴取について

- ・アンケートについては、記入者の多くが自由意見を記入しており、跡地への関心は高いと考えられる。

##### (4) - 3 内容について

- ・イメージPVを見ている方からは、CGのようなまちが実現することを望む声が多く聞かれた。アンケートにおいても「イメージCGにワクワクしました。」「CGの体験コーナーが新しく、分かりやすく、とてもよかった」等、CGによる将来イメージに関する意見が多くみられた。
- ・CGまちあるき体験と未来のまちシアターが来場者の目を引くアイテムとなり、高い集客につながったと考えられる。
- ・航空写真マットに興味を示す方が多く、普天間飛行場の規模に驚く方も多くみられた。
- ・「返還後の未来が想像できるパネル展示であった。」等、展示内容全般の評価を得られた。

##### (4) - 4 今後の検討課題

これまでのシンポジウムやワークショップ等の情報発信イベントでは、普天間飛行場跡地利用計画に関心のある人々がターゲットとなっていたが、今回、不特定多数の県民が訪れるイベントへ出展することで、これまで普天間飛行場跡地利用計画への関心が決して高いとはいえない県民への情報発信が可能となった。そのため、広く県民への周知を行う手法として、県内の大規模イベントへの出展は効果的であると考えられる。

本イベントでは、CGまちあるき体験や未来のまちシアター、航空写真マット等のビジュアル的な展示品への関心が高かったため、今後もVRの活用等、ビジュアル的な情報発信を継続すべきだと考えられる。

今後の課題としては、イベント1(普天間未来予想図 夏休み特別企画体験イベント)同様、10代後半の来場者が少なかったことから、10~20代の若い世代をターゲットとした情報発信の方法を検討する必要がある。